



ウォッチガードが AI を活用したネットワーク検知／レスポンス、 オープン XDR 機能を提供する CyGlass を買収

ウォッチガードの統合型セキュリティプラットフォームアーキテクチャとの連携により、
AI と ML を駆使したネットワークの異常検知とオープン XDR の高機能化を実現

2023年9月28日(木) - 企業向け統合型サイバーセキュリティソリューション（ネットワークセキュリティ／セキュア Wi-Fi / 多要素認証／エンドポイントセキュリティ）のグローバルリーダーである WatchGuard (R) Technologies の日本法人、ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表執行役員社長 谷口 忠彦、以下ウォッチガード）は、クラウド／ネットワーク対応の脅威検知／レスポンスソリューションの先進プロバイダー、CyGlass Technology Services の買収を発表しました。同ソリューションは組織におけるリスクの監視、脅威の抑止、コンプライアンスの遵守を支援します。CyGlass の 100%クラウドネイティブのプラットフォームは、高度な人工知能（AI）と機械学習（ML）を活用し、小規模から中堅規模組織までカバーする、ハイブリッドネットワーク対応のエンタープライズクラスのサイバー防御機能を、ハードウェア不要のお求めやすい価格で提供しています。CyGlass のテクノロジーを WatchGuard Unified Security Platform®（統合型セキュリティプラットフォーム）アーキテクチャに組み込むことにより、WatchGuard ThreatSync で AI を活用したネットワークの異常検知や最先端のネットワーク検知／レスポンス（NDR）サービス、およびオープン拡張型検知／レスポンス（XDR）の高機能化が実現します。

ウォッチガードのチーフプロダクトオフィサー、Andrew Young（アンドリュー・ヤング）は以下のようにコメントしています。「昨年の CyGlass の成功は、中堅企業や MSP が高価なハードウェアに依存しない革新的な検知／レスポンスソリューションを求めていることを示唆しています。CyGlass のテクノロジーとウォッチガードソリューションが連携することにより、パートナーにとって競争上の優位性を生み出し、売上とマージンの機会を増やすことが可能になります。ウォッチガードの Unified Security Platform（統合型セキュリティプラットフォーム）アーキテクチャに統合されることで、パートナーや顧客は、ネットワーク攻撃を寄せ付けない最新のセキュリティテクノロジーや、スイッチを含むサードパーティデバイスからのテレメトリによる高度な XDR の洞察とアクション、そして強力な組み込みレポートによる規制やサイバー保険に対する容易なコンプライアンス対応といった恩恵を受けることができます。」

CyGlass は、エンタープライズグレードのセキュリティを、あらゆる顧客にとってもっと身近なものにするというウォッチガードのミッションの重要な信条を反映しています。他の NDR 製品は一般的に、高価なハードウェアと、ソリューションを管理するための経験豊富なセキュリティアナリストに依存しており、つまり大企業のみが合理的に導入できることを意味しています。CyGlass の製品とアプローチはそれとは異なり、完全なクラウド型ソリューションとして、中堅企業や MSP が非常に合理的な所有コストで NDR 機能を利用することが可能になります。

CyGlass の創業者兼 CEO、Ed Jackowiak 氏は以下のようにコメントしています。「我々は、最も巧妙な攻撃から保護する新しいレベルのインテリジェンスによって、組織がハイブリッドネットワークをよりよく防御できるように支援することを目標に CyGlass を設立しました。このたびウォッチガードに参加し、素晴らしい Unified Security Platform（統合型セキュリティプラットフォーム）アーキテクチャに当社の機能を統合することで、当社のミッションをさらなるレベルに押し上げ、パートナーや顧客の確固たるグローバルネットワークで利用できるようになります。」

合併した両社の当面の焦点は、既存の CyGlass ソリューションで CyGlass の顧客やパートナーをサポートし、CyGlass のテクノロジーをウォッチガードのプラットフォームに統合することです。

アドバイザー

今回、Kirkland & Ellis LLP と K&L Gates LLP が、ウォッチガードと Vector Capital の法律顧問を務めました。

【WatchGuard Technologies について】

WatchGuard (R) Technologies, Inc.は、統合型サイバーセキュリティにおけるグローバルリーダーです。ウォッチガードの Unified Security Platform (TM)（統合型セキュリティプラットフォーム）は、マネージドサービスプロバイダー向けに独自に設計されており、世界トップクラスのセキュリティを提供することで、ビジネスのスケールとスピード、および運用効率の向上に貢献しています。17,000 社を超えるセキュリティのリセラーやサービスプロバイダーと提携しており、25 万社以上の顧客を保護しています。ウォッチガードの実績豊富な製品とサービスは、ネットワークセキュリティとインテリジェンス、高度なエンドポイント保護、多要素認証、セキュア Wi-Fi で構成されています。これらの製品では、包括的なセキュリティ、ナレッジの共有、明快さと制御、運用の整合性、自動化という、セキュリティプラットフォームに不可欠な 5 つの要素を提供しています。同社はワシントン州シアトルに本社を置き、北米、欧州、アジア太平洋地域、ラテンアメリカにオフィスを構えています。日本法人であるウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社は、多彩なパートナーを通じて、国内で拡大する多様なセキュリティニーズに応えるソリューションを提供しています。詳細は <https://www.watchguard.co.jp> をご覧ください。

さらなる詳細情報、プロモーション活動、最新動向は X (旧 Twitter) (@WatchGuardJapan)、Facebook (@WatchGuard.jp)、をフォローして下さい。また、最新の脅威に関するリアルタイム情報やその対策法は SecplicityJP までアクセスして下さい。

SecplicityJP : <https://www.watchguard.co.jp/security-news>

WatchGuard は、WatchGuard Technologies, Inc.の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

【本プレスリリースに関するお問合せ】

ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社

〒106-0041

東京都港区麻布台 1-11-9 BPR プレイス神谷町 5 階

マーケティング担当

Tel : 03-5797-7205 Fax : 03-5797-7207

Email : jpnsales@watchguard.com

URL : <https://www.watchguard.co.jp>